

人間ドック、オプション検査も体験しました!!

このコラムでは、本会の保健師が人間ドックのオプション検査を体験し、紹介します。
●監修…本会健康増進部指導医 小堀悦孝

第1回 上部消化管内視鏡検査

●何がわかる？

細いチューブ状の内視鏡を口から入れ、食道・胃・十二指腸を観察する検査です。胃の粘膜の状態を詳しく見ることができ、胃潰瘍や胃炎などの良性疾患から胃がんまで、いずれも早期の状態から発見することができま

●おススメする人は？

・胃がんになった人が家系にいる人
・胃に症状がある人
・ピロリ菌がいると言われた人やピロリ菌の除菌をした人

●よくある質問

Q、胃部X線検査と上部消化管内視鏡検査、どちらを受けたらよいですか？
A、胃がん検診には、胃部X線検査と上部消化管内視鏡検査があり、現在は両方とも推奨されています。

ですので、例えば、今まで特に胃の病気をしたことがない人には胃部X線検査をおすすめします。
ただ、X線検査の際に飲むバリウムは消化されず、時間が経つとお腹の中で固まりやすいので、高齢の方や便秘異常（下痢・3日以上以上の便秘）がある

人は、上部消化管内視鏡検査がおすすめです。
Q、口からではなく鼻から検査することは可能ですか？
A、本会では口からの検査のみとなっています。
Q、麻酔はしますか？
A、喉の麻酔をします。ゼリー状の麻酔剤を飲んでいただきます。

●検査を体験した感想

初めての体験で緊張してしまい、検査中は肩に力が入ってしまいました。その都度、看護師さんが優しい声掛け

をしてくださるので、とても安心して検査を受けることができました。スムーズに検査を受けるためには、できるだけ全身の力を抜き、リラックスすることが大切だと感じました。
1回目より2回目の方が検査のつらさは軽減する方が多いようです。来年も上部消化管内視鏡検査を受ける予定です。次はリラックスして受けられそうです！

上部消化管内視鏡検査を受けようか悩まれている方、安心して受けてみてくださいね。

上部消化管内視鏡検査の流れ

- ①水薬を飲む(100cc)
胃の中の泡や粘液を取るためです



- ②喉の麻酔をする
ゼリー状の麻酔剤を2回に分けて飲みます

★検査中

- ③検査室へ
検査時間は10分くらいです
(個人差があります)



【検査中の注意点】

- ・全身の力を抜き、ため息をつくような感じで腹式呼吸を続けます
- ・ゲップはできるだけ我慢します
- ・口の中に唾液が溜まったら、飲まずに舌で外に押し出します

★検査後

- ④結果説明
検査が終わるとすぐに医師から説明があります



- ⑤検査後の注意点について
看護師から検査後の説明があります

他にもこんな検査もあります!

胃のオプション検査には、上部消化管内視鏡の他に、胃がんのハイリスクをみつけるヘリコバクターピロリ抗体とペプシノゲンの検査があります。いずれも、血液検査で調べることができます。詳しいことが知りたい方は、本会の保健師がお答えしますので、下記までお問い合わせください。

本会健康増進部健康増進課
☎03-3269-2171



横山 亜希子
本会保健師